

科目名		インテリア家具製作Ⅱ			
担当教員		石崎 信宏		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	課題（作品）を自分自身で、デザイン、制作、使用すること。その体験を通し、物を使用する利便性、実際の使用勝手さ、デザインの見た目、美しさ、製作の苦勞、難しさ、楽しさを学ぶ。それと同時に与えられた時間内に物をまとめ上げる能力を養う。				
学習目標（到達目標）	収納ボックスのデザインから製作まで、インテリア家具製作の流れと製作工程について習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	家具製作詳細図→CAD図の見本、9ミリ桐集成材、18ミリ桐集成材、塗料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1～2回 ①マイフォトフレーム製作		2日間で作れる写真立ての製作 方法：作業上の注意事項の説明。材料の加工方法の説明。 達成目標：①課題の設計から製作を行う。		
2	3～4回 ①収納ボックス製作→案を考える		2日間 案を考える 方法：作業上の注意事項の説明。材料の加工方法の説明。 達成目標：①課題のデザイン、設計を行う。		
3	5～6回 ①収納ボックス製作 → CAD図を描く		見本をもとに 家具詳細図をCADで作成する。 方法：作業上の注意事項の説明。材料の加工方法の説明。 達成目標：①課題のデザイン、設計を行う。		
4	7～11回 ①収納ボックス製作 → キザミ		すみだし、キザミ、組立 方法：作業上の注意事項の説明。材料の加工方法の説明。 達成目標：①課題の製作を行う。		
5	12～13回 ①収納ボックス製作 → 塗装		塗装 方法：作業上の注意事項の説明。材料の加工方法の説明。 達成目標：①課題の塗装を行う。		
6	14～15回 ①収納ボックス製作 → 作品発表会 → 評価		課題発表 完成品に対し自己評価。良かった点と悪かった点。 他者の作品を評価する。		
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度	課題への取組方	作品の評価	出席率	収納ボックスの課題を通し、デザインから製作までを行う。材料の拾いや作業工程を考え、実務に即した家具製作の流れについて習得する。課題評価はデザイン力、使い勝手、作業の丁寧さなどを中心とする。実用性は勿論、インテリアとしての要素もしっかりと表現された納得のいく作品となるよう精一杯取り組んで欲しい。	
20 %	40 %	30 %	10 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	家具・建具製作会社を経営30年				